

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日 上場取引所 東

上場会社名 株式会社DTS

コード番号 9682 URL http://www.dts.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)西田 公一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 春木 健男 (TEL) 03-3437-5488

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無:有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----------------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 13, 853 | $\triangle 2.0$ | 427 | 96. 6 | 466 | 63. 9 | 251 | 370.0 |
| 23年3月期第1四半期 | 14, 142 | 18. 0 | 217 | | 284 | | 53 | |

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 252百万円(574.0%) 23年3月期第1四半期 37百万円(-%)

| | 1 株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益 | |
|-------------|------------------|---|-----------------------------|---|
| | 円 釒 | 戋 | 円 鈞 | 是 |
| 24年3月期第1四半期 | 10 5 | 9 | _ | |
| 23年3月期第1四半期 | 2 2 | 5 | _ | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | | | |
|-------------|---------|---------|--------|--|--|--|
| | 百万円 | 百万円 | % | | | |
| 24年3月期第1四半期 | 40, 132 | 30, 675 | 72.9 | | | |
| 23年3月期 | 41, 447 | 30, 932 | 71. 2 | | | |

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 29,248百万円 23年3月期 29,493百万円

2. 配当の状況

| | | 年間配当金 | | | | | | | | |
|------------|-------|-------|-------|----|------|----|----|----|----|----|
| | 第1四半期 | 期末 | 第2四半期 | 那末 | 第3四半 | 期末 | 期末 | | 合計 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 23年3月期 | _ | | 15 | 00 | _ | | 20 | 00 | 35 | 00 |
| 24年3月期 | | | | | | | | | | |
| 24年3月期(予想) | | | 15 | 00 | | | 15 | 00 | 30 | 00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上 | 高 | 営業和 | 刊益 | 経常和 | 刊益 | 当期純 | 利益 | 1株当た 当期純和 | |
|-----------|---------|------|--------|------|--------|-----------------|-------|-------|--------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 第2四半期(累計) | 28, 900 | △0.9 | 1,000 | 7. 1 | 1,050 | $\triangle 3.4$ | 500 | 10.3 | 21 | 03 |
| 通期 | 60, 500 | 3. 4 | 3, 050 | 32.8 | 3, 100 | 24.6 | 1,600 | 42. 3 | 67 | 30 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無
- (2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(注)詳細は、[添付資料] 4ページ「2. サマリー情報 (その他) に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更:無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 :無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 - ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 - ② 期末自己株式数
 - ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| 24年3月期1Q | 25, 222, 266株 | 23年3月期 | 25, 222, 266株 |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 24年3月期1Q | 1,446,884株 | 23年3月期 | 1,446,816株 |
| 24年3月期1Q | 23,775,383株 | 23年3月期1Q | 23,775,679株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、業界の動向を含む経済状況、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした 見通しを前提としておりますが、種々の不確実な要因により、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります ことをご承知おきください。

なお、上記業績予想に関する事項は、 [添付資料] 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績 予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| 1.当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
|------------------------------|----|
| (1)連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2)連結財政状態に関する定性的情報 | 4 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1)四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |
| 4. 補足情報 | 10 |
| 生産、受注及び販売の状況 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産活動が大きく低下し、輸出の減少や個人消費の抑制が見られるなど、厳しい状況で推移いたしました。当社グループが属する情報サービス産業においては、顧客企業のグローバル化や競争力強化などを目的とした戦略的な情報化投資に対する需要は高まりつつあるものの、コストパフォーマンス面での要求水準の高まりや多様化する顧客ニーズへのさらなる対応力が求められており、また、一部の顧客企業では震災の影響による慎重な姿勢が継続しているなど、厳しい事業環境が続いております。

このような状況下にあって当社グループは、平成22年4月にスタートした3カ年中期総合計画「バリュー・ソリューション・プロバイダー」の2年目として、金融・通信に次ぐ柱となるコア事業の育成や、新たな企画型事業の創出、グローバル展開に向けたビジネス基盤の確立に注力してまいりました。さらには、プロジェクトマネジメント強化などの「SI力の強化」施策や、他社との協業の推進などの「アライアンスの積極化」施策、コア事業分野別のグループ会社連携強化などの「グループ総合力の強化」施策、経営基盤を支える情報システムの刷新などの「経営インフラの強化」施策など、企業価値を向上させるための各種施策を積極的に推進しております。

また、お客様をはじめ社会の信頼と期待に応えていくため、コンプライアンス体制、環境対策および情報セキュリティ対策の強化などについて、中長期的な企業価値向上につながるとの認識のもと、不断の努力をしております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は次のとおりとなりました。

(単位:百万円)

| | 連結 | | 個別(参考) | |
|--------|------------|----------|--------|----------|
| | 建 柏 | 対前年同期増減率 | 個別(参考) | 対前年同期増減率 |
| 売上高 | 13, 853 | △2.0% | 8, 015 | 0.1% |
| 営業利益 | 427 | 96.6% | 356 | 76.7% |
| 経常利益 | 466 | 63.9% | 477 | 49.0% |
| 四半期純利益 | 251 | 370.0% | 369 | 87.7% |

<売上高の内訳>

(単位:百万円)

| | | 油化 | 連結 | | |
|------|-------------------------|------------|----------|--------|----------|
| | | 建 桁 | 対前年同期増減率 | 個別(参考) | 対前年同期増減率 |
| | システム エンジニアリングサービス | 8, 060 | 2.0% | 5, 354 | 0.4% |
| 情報 | オペレーション エンジニアリングサービス | 3, 293 | 1.2% | 2, 581 | △0.4% |
| サービス | プロダクトサービス・その他 | 1, 336 | △26. 4% | 78 | △4.9% |
| | 小計 | 12, 690 | △2.2% | 8, 015 | 0.1% |
| 人材 | 人材派遣・その他 | 1, 163 | △0.2% | _ | _ |
| サービス | 小計 | 1, 163 | △0.2% | | _ |
| | 合計 | 13, 853 | △2.0% | 8, 015 | 0.1% |

売上高は138億53百万円(前年同期比2.0%減)となりました。運輸通信業、サービス業および製造業向けのシステム開発案件が好調に推移したことによりシステムエンジニアリングサービスは増加いたしましたが、震災の影響などによる案件の凍結や消失によりプロダクトサービス・その他は減少し、売上高は減少いたしました。

売上原価は119億6百万円(前年同期比3.8%減)となり、売上総利益は19億47百万円(前年同期比10.2%増)となりました。売上総利益の増加は、主にプロジェクトマネジメント強化による不採算案件の減少や、生産性向上によるプロジェクト採算の改善などによるものであります。

販売費及び一般管理費は、3カ年中期総合計画「バリュー・ソリューション・プロバイダー」に基づき、新規事業の創出や経営インフラの強化など戦略的費用の活用を推進しておりますが、費用削減に向けた取り組みの強化を並行して実施したことにより、ほぼ前年同期並みに推移いたしました。

この結果、営業利益は4億27百万円(前年同期比96.6%増)、経常利益は4億66百万円(前年同期比63.9%増)、四半期純利益は2億51百万円(前年同期比370.0%増)となりました。

各事業における営業概況は次のとおりであります。

情報サービス事業

[システムエンジニアリングサービス]

前年同期の金融大型開発案件の影響により金融業向けが減少したものの、運輸通信業、サービス業および製造業向けのシステム開発案件が好調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。

[オペレーションエンジニアリングサービス]

顧客内製化などによる運用コスト削減への動きの一巡や、新たな運用案件の獲得により、売上高は増加いたしました。

「プロダクトサービス・その他】

クラウド関連の需要は増加しているものの、震災の影響などによる案件の凍結や消失により、売上高は減少いた しました。

人材サービス事業

[人材派遣・その他]

改正労働者派遣法案を見越した派遣契約の打ち切りなど厳しい環境が続いておりますが、企画・提案型の営業を 積極的に推進し、売上高はほぼ前年同期並みに推移いたしました。なお、この事業はデータリンクス株式会社にて 行っております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は401億32百万円となり、前連結会計年度末414億47百万円に比べ13億15百万円減少しております。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少16億39百万円、および仕掛品の増加5億50百万円であります。受取手形及び売掛金は、連結会計年度末に計上される売上高が他の月に比べ多いため、四半期決算における前連結会計年度末対比では、恒常的な季節変動として減少することが主な要因であります。また、仕掛品は、上述の売上高の季節変動に対応して、増加することが主な要因であります。

負債は94億57百万円となり、前連結会計年度末105億15百万円に比べ10億58百万円減少しております。主な要因は、法人税等の支払等に伴い、未払法人税等が8億62百万円減少したことによるものであります。

純資産は306億75百万円となり、前連結会計年度末309億32百万円に比べ2億56百万円減少しております。主な要因は、剰余金の配当により利益剰余金が4億75百万円減少し、四半期純利益により利益剰余金が2億51百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

景気の先行きについては、生産活動の回復に伴い持ち直しが期待されているものの、電力供給の制約や原子力災害の影響などの懸念により、顧客企業の業況判断や情報化投資に対する姿勢については不透明な状況にあります。このような状況下にあって当社グループは、平成22年4月にスタートした3カ年中期総合計画の2年目として、最適な事業ポートフォリオの構築に向けた企画型の営業強化やマーケットイン型のソリューション提供などの中長期的な取り組みを強化するとともに、経費の効率的活用など、事業環境に適応した取り組みも継続して推進してま

以上のことより平成23年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

| | 前連結会計年度 (平成23年 3 月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|-----------------|---------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | (1)000 1 0 7 0 1 1 7 | (1/90501 07100 H7 |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11, 675, 614 | 11, 790, 510 |
| 受取手形及び売掛金 | 9, 335, 538 | 7, 695, 82 |
| 商品 | 165, 873 | 187, 83 |
| 仕掛品 | 486, 501 | 1, 036, 62 |
| 貯蔵品 | 12, 943 | 12, 20 |
| その他 | 2, 495, 644 | 2, 510, 86 |
| 貸倒引当金 | △18, 947 | $\triangle 17,52$ |
| 流動資産合計 | 24, 153, 168 | 23, 216, 34 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 6, 431, 725 | 6, 431, 72 |
| その他(純額) | 2, 663, 008 | 2, 652, 44 |
| 有形固定資産合計 | 9, 094, 733 | 9, 084, 16 |
| 無形固定資産 | | , , |
| のれん | 2, 268, 024 | 2, 159, 82 |
| その他 | 2, 436, 771 | 2, 184, 61 |
| 無形固定資産合計 | 4, 704, 796 | 4, 344, 43 |
| | 1, 101, 130 | 1, 011, 10 |
| 投資その他の資産 その他 | 2 676 700 | 2 660 90 |
| | 3, 676, 788 | 3, 669, 80 △182, 07 |
| 貸倒引当金 | △181, 765 | |
| 投資その他の資産合計 | 3, 495, 023 | 3, 487, 73 |
| 固定資産合計 | 17, 294, 552 | 16, 916, 33 |
| 資産合計 | 41, 447, 721 | 40, 132, 68 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2, 056, 593 | 2, 025, 39 |
| 短期借入金 | 344, 320 | 343, 87 |
| 1年内償還予定の社債 | 120, 000 | 120, 00 |
| 未払法人税等 | 1, 062, 907 | 200, 67 |
| 賞与引当金 | 2, 218, 365 | 1, 224, 02 |
| 役員賞与引当金 | 59, 570 | 17, 26 |
| 受注損失引当金 | 114, 852 | 137, 31 |
| 事務所移転費用引当金 | 27, 519 | 27, 51 |
| 損害賠償損失引当金 | 20, 475 | 20, 47 |
| その他 | 3, 486, 636 | 4, 378, 18 |
| 流動負債合計 | 9, 511, 239 | 8, 494, 72 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 220, 000 | 170, 00 |
| 退職給付引当金 | 498, 721 | 510, 18 |
| 役員退職慰労引当金 | 85, 559 | 83, 62 |
| その他 | 199, 902 | 198, 49 |
| 固定負債合計 | 1, 004, 183 | 962, 31 |
| 負債合計 | 10, 515, 423 | 9, 457, 03 |

| | | (単位:千円) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6, 113, 000 | 6, 113, 000 |
| 資本剰余金 | 6, 190, 917 | 6, 190, 917 |
| 利益剰余金 | 18, 755, 198 | 18, 531, 536 |
| 自己株式 | △1, 493, 542 | $\triangle 1, 493, 596$ |
| 株主資本合計 | 29, 565, 574 | 29, 341, 858 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △72, 302 | △92, 966 |
| その他の包括利益累計額合計 | △72, 302 | △92, 966 |
| 少数株主持分 | 1, 439, 026 | 1, 426, 755 |
| 純資産合計 | 30, 932, 297 | 30, 675, 647 |
| 負債純資産合計 | 41, 447, 721 | 40, 132, 683 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第1四半期連結累計期間)

| (第1四十朔建福系訂朔间) | | (単位:千円) |
|---------------------|---|---|
| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) |
| 売上高 | 14, 142, 145 | 13, 853, 893 |
| 売上原価 | 12, 374, 931 | 11, 906, 844 |
| 売上総利益 | 1, 767, 214 | 1, 947, 049 |
| 販売費及び一般管理費 | 1, 549, 705 | 1, 519, 345 |
| 営業利益 | 217, 508 | 427, 703 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3, 855 | 3, 253 |
| 受取配当金 | 19, 356 | 18, 702 |
| 助成金収入 | 37, 597 | 11, 374 |
| その他 | 11, 381 | 8, 305 |
| 営業外収益合計 | 72, 191 | 41,636 |
| 営業外費用 | 0.005 | 4 050 |
| 支払利息 | 3, 267 | 1, 258 |
| 保険解約損 その他 | 1,565 | 575 688 |
| 営業外費用合計 | 4,833 | 2, 522 |
| | | <u> </u> |
| 経常利益 特別提供 | 284, 866 | 466, 817 |
| 特別損失 固定資産除却損 | 14, 616 | 3, 874 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 12, 053 | J, 014 |
| その他 | 250 | _ |
| 特別損失合計 | 26, 920 | 3, 874 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 257, 946 | 462, 942 |
| 法人税等 | 181, 215 | 189, 537 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 76, 730 | 273, 405 |
| 少数株主利益 | 23, 146 | 21, 558 |
| 四半期純利益 | 53, 584 | 251, 846 |
| - 1 //// 5 1 4 min | | _01,010 |

(四半期連結包括利益計算書) (第1四半期連結累計期間)

| | | (単位:千円) |
|-----------------|---|---|
| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 76, 730 | 273, 405 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △39, 233 | △20, 673 |
| その他の包括利益合計 | △39, 233 | △20, 673 |
| 四半期包括利益 | 37, 497 | 252, 731 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 13, 939 | 231, 183 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 23, 558 | 21, 548 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | 24 Mr. 4 mr. 1/4 Hr. 17/4 Hr. 31 Hr. Hr. | (単位:千円) |
|---------------------|---|---|
| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 257, 946 | 462, 942 |
| 減価償却費 | 364, 987 | 349, 990 |
| のれん償却額 | 108, 202 | 108, 202 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △816, 133 | △994, 339 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △21, 490 | △42, 307 |
| 受注損失引当金の増減額(△は減少) | 82, 177 | 22, 465 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △3, 393 | 11, 465 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △158, 844 | △1, 929 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1, 581, 574 | 1, 639, 717 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △922, 139 | △571, 347 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 75, 763 | △31, 200 |
| その他 | 1, 059, 156 | 714, 151 |
| 小計 | 1, 607, 807 | 1, 667, 810 |
| 利息及び配当金の受取額 | 24, 826 | 23, 158 |
| 利息の支払額 | $\triangle 3,371$ | △2, 202 |
| 法人税等の支払額 | △289, 004 | △1,009,134 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1, 340, 259 | 679, 631 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △55, 295 | $\triangle 40, 152$ |
| 無形固定資産の取得による支出 | $\triangle 120,663$ | △36, 979 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △309 | △330 |
| 事業譲受による支出 | $\triangle 4, 155$ | _ |
| その他 | 1, 563 | 3, 270 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △178, 860 | △74, 192 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | $\triangle 49, 100$ | △450 |
| 長期借入金の返済による支出 | $\triangle 2,937$ | _ |
| 社債の償還による支出 | $\triangle 50,000$ | △50,000 |
| 自己株式の取得による支出 | $\triangle 46$ | △54 |
| 配当金の支払額 | $\triangle 407,062$ | $\triangle 407, 244$ |
| 少数株主への配当金の支払額 | $\triangle 32,701$ | △31, 563 |
| その他 | _ | $\triangle 1,225$ |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △541, 847 | △490, 536 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2 | |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 619, 553 | 114, 902 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9, 366, 882 | 11, 250, 614 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 9, 986, 435 | 11, 365, 516 |
| 元业人の元本国中がグローガルル人国 | J, J00, 400 | 11, 500, 510 |

- (4)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績は、以下のとおりであります。

| | セグメントおよび品目の名称 | 生産高 (千円) | 前年同四半期比(%) |
|------|---------------------|--------------|------------|
| 情報 | システムエンジニアリングサービス | 8, 060, 841 | 2.0 |
| サービス | オペレーションエンジニアリングサービス | 3, 293, 788 | 1.2 |
| 合計 | | 11, 354, 629 | 1.7 |

(注) 上記金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。なお、セグメント間の取引は、相殺消去しております。

(2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況は、以下のとおりであります。

| セ | グメントおよび品目の名称 | 受注高(千円) | 前年同四半期比(%) | 受注残高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|------|-------------------------|-------------|------------|--------------|------------|
| 情報 | システム エンジニアリングサービス | 6, 845, 206 | △20. 1 | 8, 991, 172 | △16. 2 |
| サービス | オペレーション エンジニアリングサービス | 1, 728, 044 | 46. 2 | 7, 148, 079 | △3.8 |
| | 合計 | 8, 573, 251 | △12. 1 | 16, 139, 252 | △11.1 |

(注) 上記金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。なお、セグメント間の取引は、相殺消去しております。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績は、以下のとおりであります。

| | セグメントおよび品目の名称 | 販売高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|--------|---------------------|--------------|------------|
| 情報サービス | システムエンジニアリングサービス | 8, 060, 841 | 2. 0 |
| | オペレーションエンジニアリングサービス | 3, 293, 788 | 1. 2 |
| | プロダクトサービス・その他 | 1, 336, 127 | △26. 4 |
| | 小計 | 12, 690, 757 | △2. 2 |
| 人材 | 人材派遣・その他 | 1, 163, 136 | △0. 2 |
| サービス | 小計 | 1, 163, 136 | △0. 2 |
| | 合計 | 13, 853, 893 | △2. 0 |

(注) 上記金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。なお、セグメント間の取引は、相殺消去しております。